

植物保護学特論演習Ⅱ (2単位)

担当者氏名 根岸寛光・篠原弘亮

◆学習・教育目標

植物保護学特論Ⅱと一体の科目であり、これまでの学部の諸講義・実験・演習や卒論研究で得られたことを一層深化させ、修士論文研究課題に関係するこれまでの内外研究成果蓄積を整理して、独創的な研究展開に役立てると共に、読解力・文章力・発表力を磨く。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

病原学 発生生態 診断技術 防除技術
 病原微生物と植物の相
 互反応

◆授業の進行等について

| | テーマ | 内容 | 授業のねらいまたは準備しておく事項 |
|---|--|--|-------------------|
| 1 | 論文購読(第1～8週) | 植物と病害の相互関係・防除に関する論文を購読し、病害防除の実践状態を把握する | |
| 2 | 試験研究機関の見学(第9～10週) | 試験研究機関の見学と意見交換 | |
| 3 | 修士論文の取りまとめ(第11～13週) 学審査会要旨作成及び発表準備(第14週) 学位審査会(第15週) | 実験結果の解析と論文作成 | |

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

Plant Pathology 5th ed./Agrious, G. N./Elsevier Academic Press (2005)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

植物病理学/大木 理/東京化学同人 (2005)

植物病理学/眞山滋志・難波成任編/文英堂 (2010)

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

積極的なゼミへの参加と学会発表成果で評価する

◆その他受講上の注意事項

学内外で開催される日本植物病理学会 EBC 研究会ワークショップ、日本農薬学会農薬生物活性研究会シンポジウム、日本植物防疫協会シンポジウム、報農会シンポジウムなど、植物病理学に関する学術集会等への参加およびその内容に関するレポートを義務づけることがある。